

(令和2年12月試験研究業務月報)

(令和2年度「スマート農業実証プロジェクト」)

研 究

## 宇治茶生産スマート化の現場を紹介

当所では、国のスマート農業実証事業を活用し、茶生産のスマート化の実証を進めています。12月2日に、南山城村の実証ほ場において、京都府立農業大学校の生徒と茶業研究所の研修生・学舎生計7人を対象に、本取組を紹介しました。

実証農家がスマート防除機について、走行速度に応じて自動的に農薬の散布量が調整され、不慣れな作業員でも事前に設定したとおりの面積あたり散布量が散布できること等を説明し、実演を行いました。また、当所からドローンや定点カメラを活用した茶園の遠隔監視の仕組みや普及に向けての課題等を説明しました。参加者からは、防除機の操作方法等について質問がなされました。

今後は、実証活動と平行し、宇治茶生産の次代を担う世代を中心に、積極的に情報発信を進めて行きます。



スマート防除機を実際に触って確認

農林センター（茶業研究所）